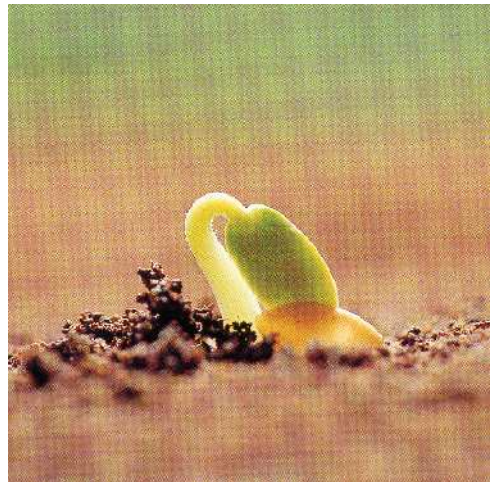


クラウンメロンが出来るまで

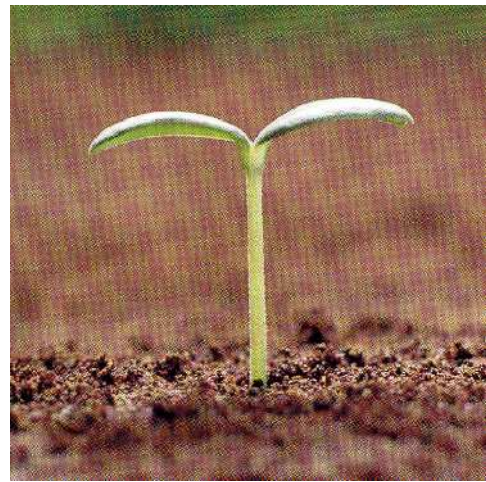
種から100日 1つ1つ大切に育てられます。

3~4日



種をまいて3~4日目。土の中からもこもこと芽が顔を出します。

6~8日



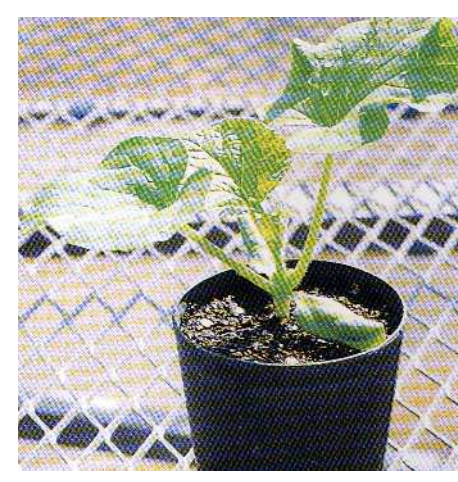
双葉がしっかりと開きました。

10~12日



樹勢を良くし、病気を防ぐため台木用の苗を同時に育てこのようにくっつけます。これを接木(つぎき)といいます。

18~22日



種をまいて3週間くらいで本葉3~5枚になります。まもなく定植です。

26~30日



いよいよ定植です。苗を植える間隔はその後のメロンの生育に大きく関わります。支柱をしっかりたて、つるを誘引します。

31~45日



つるがのびて葉っぱもだんだん大きくなってきました。毎日の水やりが欠かせません。

46~47日



めばなのつぼみが顔を出しました。

50日



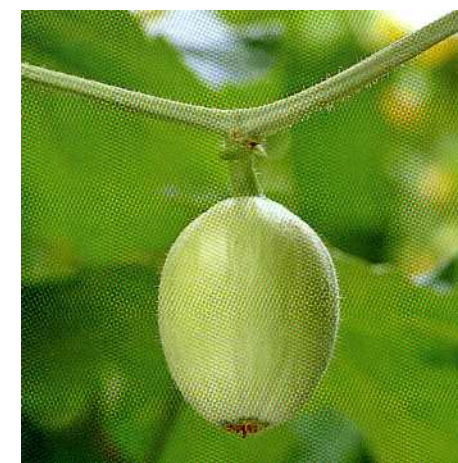
花が咲き始めるとめばなにおばなの花粉を1つ1つつけて交配します。みつばちによる交配も行われています。

53~55日



上手に交配して受粉するとめばなの子房がムクムクとふくらんできます。

57~59日



交配から1週間くらい。メロンの赤ちゃん誕生!! 1本の樹に1つだけ残して他は摘み取られます。

65~68日



だんだん大きくなってくると上からひもでメロンをつります。これを玉つりといいます。

69~70日



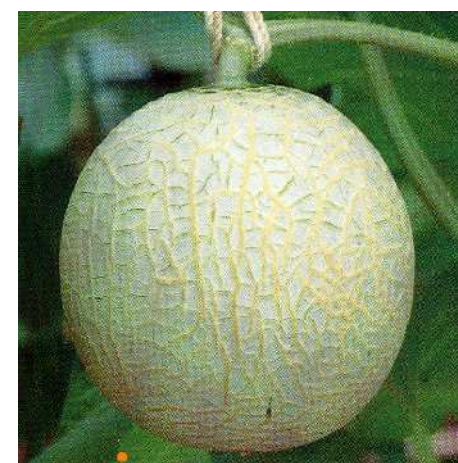
玉が大きくなるにつれ表皮が自然に割れて傷のようになります。

72~74日



傷はさらに玉全体に広がっていきます。

75~80日



できた傷をメロンが自分で治すように傷口がふさがり盛り上がってきます。これがネットになっていくのです。

95~100日



マスクメロン特有のきれいな網目模様(ネット)の完成。ここまで約100日。おいしいメロンの出来上がりです。